

世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。

ここでは**東京都市大学**の紹介と地域と協力した取り組みをご紹介します！

2022年4月、本学の都市生活学部・人間科学部が世田谷キャンパスへ移転しました。理工系一色であったキャンパスに新しい学部が加わることで、他分野との交流機会が増え、新たな教育・研究のシナジー効果が生まれています。今回は両学部の取り組みにスポットを当てて、ご紹介します。

都市生活学部の紹介

都市生活学部は、新しい発想で創る「都市」をテーマに総合的に学ぶ社会科学系の学部です。魅力的で持続可能な都市生活の創造のために、地域や人々のニーズを実現するための計画づくりから、事業として実現し、その後の管理や運営を担う実践力ある人材の育成を、地域連携によるまちづくりプロジェクトを通して行っています。

大学と地域が連携してウェルビーイングな暮らしの未来をつくる実験場「おやまちリビング・ラボ」を商店街に面したコミュニティ拠点「タタタハウス」2階に開設。

2022年3月、本学が位置する世田谷区尾山台地区・ハッピーロード商店街に「おやまちリビングラボ」が誕生。本学総合研究所ウェルビーイング・リビングラボ研究ユニットが運営するもので、SDGsの達成に向け、持続可能でウェルビーイングな次世代ライフスタイルを、先端テクノロジーを用いながらコミュニティとの協働を通じて実現する社会技術開発の拠点としてスタートしました。これを記念して、世田谷区長、世田谷区教育委員会教育長をお招きして、同年6月にシンポジウムを開催し、取り組みが進んでいる各プロジェクトの紹介やゲストを交えてのパネルディスカッションを行いました。その後、リビングラボに会場を移し、施設の内覧会と交流会を開催。今後のリビングラボに関する活発な意見交換会を行いました。



人間科学部の紹介

人間科学部では、社会の動向や多様なニーズに的確に応え、保育・教育、発達・心理、文化、保健・福祉、環境等について総合的に理解し、豊かな感性としなやかな知性を備えた高い専門性を持つ自立した人材を養成しています。カリキュラムには、全国に先駆けて大学内に設置された子育て支援センター「ぴっぴ」を活用した子育て支援演習、などの「体験型プログラム」が数多く用意されています。



子育て支援センター「ぴっぴ」

地域の子育てを支援するために2004年6月1日開設。多くの親子が利用するこの施設では、学生が「子育て支援体験」の実習を通して、直接親子と触れ合い、実践力を高める「生きた」学びの場となっています。

○当教員・スタッフからのコメント

子育て支援センターぴっぴは登録制の親子のための遊び場です。等々力から世田谷キャンパスに移転し、室内はさらに広々親子でゆったり過ごしてもらえるようになりました。2023年2月以降、テラス遊具や室内おもちゃもボリュームアップしていきます。ぜひのぞいてみてください。スタッフ一同お待ちしております。



<http://pippi.child.tcu.ac.jp/>

2022年度世田谷区との主な取り組み

- 新・才能の芽を育てる体験学習（2022年度3回実施/6月2回、12月1回）
- 若者環境フォーラム（2022年10月）/若者環境デー（2022年12月）
- 「乳幼児を対象とした文化・芸術体験事業」（2022年9月～2023年3月）
- STEAM教育講座（2022年9月）

東京都市大学 [Webサイト：<https://www.tcu.ac.jp/>]

○世田谷キャンパス：5学部13学科/理工学部/情報工学部/建築都市デザイン学部/都市生活学部/人間科学部
〒158-8551 東京都世田谷区玉堤1-28-1 03-5707-0104

○横浜キャンパス：3学部5学科/環境学部/メディア情報学部/デザイン・データ科学部（2023年4月開設）
〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1 045-910-0104